

第2回鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会

テーマ2 デジタルによる地域コミュニティの活性化

R6.3.13 A班

鈿持委員、加藤委員、
鈴木委員、遠藤委員

【注 釈】

課 題：黒字

解決策：網掛文字

課題

解決策

- ①
- ・広報のイベント欄は小さい
 - ・地域コミセンにホームページは不可欠

①

- ・広報のイベント
- ※市のホームページで詳細が見れるように

- ②
- ・利用ツールの活用方法が分からない
 - ・利用ツールがバラバラ
 - ・デジタルツールの使い方が分からない
 - ・デジタルツールの利便性の理解から入る
 - ・LINEの理解（考え方）
※個人のも→パブリック
 - ・デジタルツール 防災 コミュニティとしての利用

②

ツールの共通化

- ・はじめに ツールの利用用途先を確認
- ・連絡手段（コミュニティ用）LINE
- ・連絡手段（コミュニティ→住民）LINE公式アカウント
- ・情報発信 X（旧ツイッター）、Instagram
- ・かつ汎用アプリを使う
- ・その他 デバイスの保有状況の確認
- ・ツール習得 専門講座による一斉習得

・メール〇
LINE ×
料金は？

・「新しいものをやっ
ていこう」「変わ
りたくない」とい
う 気持ちが交錯

・とらえ方の意識を
変えるだけでかな
り友好的

・地域限定の顔を出す必要もある

・地域からのボトム
アップできるホーム
づくりができないか

- ・市役所正面玄関にデジタル相談所を毎日開設
- ・行政からのサポートが必要
- ・地域限定ページ やはり顔をだす
※信用のもと（学級通信のように）
- ・デジタル化にコミ推課の予算を使う 人の派遣

第2回鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会

テーマ2 デジタルによる地域コミュニティの活性化

R6.3.13 B班 高橋委員、田村委員、市川委員、阿部委員

【注 釈】
課 題：黒字
解決策：網掛文字

現状 デジタル化した方がよいこと

回 覧 回覧板（紙）をまわす事の手間

集 金

- ・ 集金する事の手間
小学校・中学校の賛助会費集めに行っても家にいない。
PayPay 送金などデジタル化してほしい
- ・ PayPay 送金機能（情報流出がこわい）

会費の連絡

- ・ 小学生の保護者は諸会合連絡にLINEを活用している
(自治振関係)
- ・ 自治組織でのデジタル化の導入されている事に驚きを感じた
総会の案内をメールで知らせる（告知など）リモートの集会
- ・ 集会をリモート開催に
- ・ LINE、電子メール...等の活用

イベント

- ・ ぽっぽの湯フォトコンテストはQRコードを使用している
オンライン応募をしている

災 害

- ・ 災害時の即戦力、安否確認 ←ぜひデジタル化してほしい

デジタル化の懸念点

高齢者がスマホやデジタルに慣れていない

- ・ 事業の参加者は比較的高齢者が多いがスマホを持ってない人もいる
- ・ 高齢者への配慮
デジタルのコミュニティとそうじゃないコミュニティの両立
- ・ スマホ教室

安全性

- ・ 集金の簡素化（会費） データ漏れが危惧される

デジタル化してよかった・よいこと

関わり方の変化

- ・ デジタル化によって「ライト」な関り方が選べるようになった
- ・ 関わり方の多様化
- ・ 障害のある方→デジタルによってコミュニティにかかわりやすく

効率化

- ・ 代表者専用の携帯を準備されている。情報の効率化が図られている
- ・ ペーパーレス化 ・ デジタル化→役員の省力化

第2回鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会

テーマ2 デジタルによる地域コミュニティの活性化

R6.3.13 C班 菅原委員、太谷委員、渡邊委員

【注 釈】
課 題：黒字
解決策：網掛文字

便利・可能性

- ・連絡の簡素化
- ・災害時の安否確認
- ・回覧板のデジタル化 →できるとすごくいい
- ・消防・防災情報はよい
- ・電話できなくてもメッセージはできる

・過渡期二重三重の周知方法となっている

利用状況

- ・興味はあるものは見るが...
- ・今利用しているのはフェイスブック、LINE、メッセージ、他アマゾン...
- ・フェイスブック、インスタグラムの活用イベント情報をのせている
 - フェイスブック反応 若い人は見る お年寄りは見ない
- ・発信も慣れないと難しい
- ・若い人見る人が多いが一定年齢になると見ると見ない
 - 電話もらう
- ・現状 フェイスブック 若い人いなくなっている
- ・忙しいと出すのを忘れてしまう（スムーズにできない）

課 題

- ・便利なのは十分分かる。でもすべてを理解するのは難しい
- ・年代の若い役員 LINE活用
役員の年代がまだ高い面もある
- ・高齢者への対応
- ・デジタル化の進展によるコミュニケーション不足
- ・携帯ないから役員になれない、と断られる
- ・携帯持ちたくない人もいる

【解決へ向けて】

- ・手間はぶけている部分はある
- ・講習会 使い方に慣れる やってみてはどうか
- ・講習会 コミセン単位でやっている
- ・慣れる必要性
- ・限定して覚えてもらう
- ・デジタル時代になっている
- ・五つ六つ教えられてもちょっと厳しい。少しずつがいい
- ・デジタルを使いこなせないことが新たな利用となる